




2014年度 本社・大森工場
(平成26年)

マネジメントレビュー (経営層による見直し) の記録・報告

報告年月日: 2015年5月28日

1. レビューの年月日 : 平成27年5月8日
 2. レビューの参加者 (有効性): 伊賀上(MR)・竹内・千田・佐藤・清水・高柳・鈴木
 3. レビューの指示者 : 社長
 4. 報告者 : 伊賀上 (MR)

指示者	報告者	作成者
		

5. レビューの概要

インプットの内容		アウトプットの内容 (決定及び処置)		
事項	提供された資料 (情報)・検討内容	事項	社長の指示事項 (妥当性・有効性)	被指示者
a) 内部監査の結果、法的要求事項及び組織が同意するその他の要求事項の順守評価の結果	26/10.23 要求事項監査(フォローアップ 1件..注意事項 3件) 26/10.27 企業目的監査(販売計画の立案と、その実行戦略について) 27/4.1 付「法的要求事項順守評価」を参照 27/4.7 付「目的・目標達成度評価(総合評価)」を参照。	(1) 当システムの有効性の改善の機会の評価	①環境適合設計マニュアルの作成については、技術部に順調に進められていることを評価します。 ②設備の老朽化対策については、進捗が遅れぎみですので、しっかりと取り組んでいくように指示します。 ③在庫の削減活動については、解決に時間のかかる難題ですが、地道に足下の現状分析から取り組んでいって下さい。 ④クレーム問題については、相変わらずケアレスミスが原因による事が多く見受けられます。作業者のスキルアップと研修会等を通じて、情報の風通しを良くして下さい。	MR 製造部長 営業部長 技術部長
b) 苦情を含む外部の利害関係者からのコミュニケーション	ファイル No:11-④「外部環境情報」(外部コミュニケーション)を参照。 情報 No.87～96(川崎重工・旭化成エンジ・環境省・他) ファイル「クレーム処理受付票」No.18～19を参照。	(2) 必要な設備、技法の導入、要員の配置に関する事項及び発生する費用	①今年、マシニングセンタの導入がありました。これによって作業の効率化・コストの低減を計るよう大いに活用すること。 ②疾病による長期休職者があります。特に技術部においては、要員不足による負担が大きく、他部門への影響も少なからずあり、補充も含めた問題解決に早急に取り組むよう指示します。 ③設備等の老朽化対策に向けた「基本計画」を作成・検討するよう指示いたします。	MR 製造部長 技術部長
c) 組織の環境パフォーマンス	騒音・振動測定(26年10/31,27年3/23)付を参照。 エネルギー使用量記録(27年4/1)付を参照。 作業環境測定(外部)・・・有機溶剤及びエチルベンゼン 26年8/5、27年1/22 26年度 目的・目標実績検討及び達成度評価(総括)を参照。 ・・・2015年4/7付参照 ファイル No:16 ファイル No:17	(3) 環境方針、目的・目標及び当システムの変更の必要性	①システムは順調に機能しており、大幅な変更の必要性は無いと考えます。 ②環境側面の抽出評価から、著しい側面の特定・目的目標を設定する手順が煩雑で時間が掛かるため、「環境マニュアル」の変更を検討してはどうか?	MR
d) 目的及び目標が達成されている程度	2014年(26年度)環境改善計画・・・2014年5/30付参照。 2014年(平26年度)目的・目標実績検討及び達成度評価(総括)・・・2015年4/7付参照	(4) その他	①環境委員を中心として EMS 活動一年間ご苦労様でした。今後も活動を通じて、業績の向上、品質の維持、業務の効率化を目指して、更なる活動をスパイラルアップしていって下さい。 ②今年度もまた、前期に引き続いて大幅(約1億円、△24%)に売上げが減少してしまい、利益も大幅な赤字決算となっております。このような最悪の状態から脱却するためには、一定額以上の売上げの確保と在庫削減による資金繰りの改善しかありません。 この2大テーマを是非 ISO 活動の中で取上げ解決の道を切り開いていくことを指示します。	環境委員 MR
e) 是正処置及び予防処置の状況	内部監査報告書 ファイル No:14-③を参照。 「クレーム処理受付票」受付 No:18～19を参照。 ファイル No:10-①「内部情報(コミュニケーション)」情報 No:51～52を参照。			
f) 前回までのマネジメントレビューの結果に対するフォローアップ	26年5/18付「マネジメントレビュー」及び27年4/7付「目的・目標実績検討(総合)」を参照 ・環境適合設計については、順調に進んでいるが、クレーム処理システムの機能強化、設備の老朽化対策、在庫の削減活動に関しては、更なる活動のスパイラルアップが必要である。			
g) 環境側面に係る法的及びその他の要求事項の進展を含む、変化している周囲の状況	「法規制一覧」(25年5/31付)を参照のこと。 2014年度(26年度)「法的要求事項及び同意するその他の要求事項の順守評価」・・・27年4/1付を参照。			
h) 改善の為の提案	各、目的・目標に対する、改善計画の内容を、各担当部門責任者が良く理解と認識をし、実行していくことが重要である。 特に、営業・製造は日常業務に追われ、不十分になることが多いので注意。			
i) 環境会議議事録	第116回環境会議議事録(2014/5.8) 第120回環境会議議事録(2014/10.31) 第117回環境会議議事録(2014/5.28) 第121回環境会議議事録(2014/12.19) 第118回環境会議議事録(2014/6.26) 第122回環境会議議事録(2015/1.27) 第119回環境会議議事録(2014/9.25) 第123回環境会議議事録(2015/2.27)			